Creative Enzymes®

ヒト角化細胞由来トランスグルタミナーゼ1、組換え型

Cat. No. NATE-1724

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	トランスグルタミナーゼは、ヒト皮膚扁平上皮癌から分離されたI.M.A.G.E.-クローンIRAKp961M1628のTGM1アレルに基づいています。これはN末端にヘキサヒスチジンタグが融合しており、コードされるN末端アミノ酸配列はMHHHHHHMDGPRです。トランスグルタミナーゼはIMACによって90%以上の純度で精製されます。
用途	この製品は、タンパク質やペプチド中のグルタミン残基から一次アミンへのアシル転移反□を触媒します。例えば、ペプチド結合したグルタミン残基のアシル基をペプチド結合したリジン残基の一次アミノ基に転送することによって、タンパク質間のε-(γ-グルタミル)リジン結合の形成を行います。この製品は免疫沈降にも使用できます。
別名	トランスグルタミナーゼ; EC 2.3.2.13; 80146-85-6; トランスグルタミナーゼ; ファクター XIIIa; フィブリノリガーゼ; フィブリン安定化因子; グルタミニルペプチド γ-グルタミル転移酵素; ポリアミン トランスグルタミナーゼ; 組織トランスグルタミナーゼ; R-グルタミニルペプチド:アミン γ-グルタミル転移酵素; タンパク質-グルタミン γ-グルタミル転移酵素; TG1

製品情報

種	人間
由来	昆虫細胞
外□	白色の凍結乾燥固体。
形態	トランスグルタミナーゼは、50 mM Tris-HCl pH 8.0、10 mM グルタチオンから凍結乾燥されます。
EC番号	EC 2.3.2.13
CAS登□番号	80146-85-6
分子量	90 kDa
純度	> 90 %（SDS-PAGEによる視□的）
活性	> 8,000 U/mg [活性は、Lorand et al. による N,N-ジメチル化カゼインへのトランスグルタミナーゼ触媒によるモノダンシルカダベリンの取り込み後の蛍光□強速度を測定することによって決定されます。Anal. Biochem. 44 (221-231)]。
活性化因子	10 mMのCa2+を加えてトランスグルタミナーゼを活性化します。
単位定義	1 Uは、1 a.u./minの蛍光強度の□加として定義されます（Cary eclipse 蛍光分光光度計、Varianで測定; λex = 332 nm, λem = 500 nm; バンドフィルター = 5 nm; □出器強度 = 600 V; 温度 = 37°C, アッセイ体積 = 1 ml）。

使用法とパッケージング

包装	150 µg
再構成	タンパク質が凍結乾燥されたH2Oの体積を凍結乾燥粉末のバイアルに加えます。固体が溶解するまでバイアルを優しく回転させます。再構成後、溶液は作業用アリコットで冷凍保存するべきです。短期間の保存のために氷の上で冷却しておいてください。

保管・発送情報

保存方法	-20°C以下で保管してください。作業用アリコットは-20°C以下で保管してください。繰り返しの凍結と解凍を避けてください。常温での配送が可能です。